

【西区】令和7年第3回区づくり推進横浜市会議員会議

令和7年9月5日(金) 15時30分開始
西区役所3B会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 令和6年度 個性ある区づくり推進費決算状況
- (2) 令和7年度 西区主要事業の進捗状況
 - ア 「にこやか しあわせ くらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進
 - イ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - エ 子育て支援の推進
 - オ 地域連携推進・回遊性向上事業
 - カ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - キ スポーツ振興事業
 - ク 藤と季節の花がつなぐまちづくり事業
 - ケ 西区 みんなでエコアクション! 推進事業
 - コ 地域防災活動推進事業
- (3) 令和8年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)

【参考】西区における開発動向等

【参考】区制80周年事業について

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 令和6年度 個性ある区づくり推進費決算状況

1 事業区分別実績

区分	予算額	予算現額	決算額	差引	(単位:円) 執行率
自主企画事業費	100,653,000	100,653,000	96,363,089	4,289,911	95.7%
統合事務事業費	34,199,000	34,199,000	33,023,823	1,175,177	96.6%
区庁舎・区民利用施設管理費	472,778,000	475,327,000	478,424,866	△ 3,097,866	100.7%
合計	607,630,000	610,179,000	607,811,778	2,367,222	99.6%

2 重点事業（自主企画事業費）

1 地域のつながりづくり	19,747,938円
主な事業	事業内容 事業実績
区制80周年記念事業	自治会町内会や地域団体、商店街、企業など多くの主体と連携した、地域への愛着の深化、さらなる地域のつながりの強化・賑わいの創出を推進 ・記念式典開催（参加者数303名） ・重ね押しスタンプラリー（応募者数1,462件） ・「横浜西区LOVEWalker」発行（部数35,000部） ・記念作品として区役所前ベンチリニューアル
「にこやか しあわせ くらしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	「にこやか しあわせ くらしのまちプラン（西区地域福祉保健計画）」第4期計画の推進、普及啓発、及び第5期計画の策定 ・ボランティア団体へのヒアリング（6～9月） ・西区民3,000人へのアンケート調査（7月） ・推進評価委員会等の開催（7・12・1月） ・区民まつりでのブース出店（11月） ・にこまちフォーラムの開催（2月）
2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	21,027,557円
主な事業	事業内容 事業実績
西区で子育て学び隊事業	休日プレパパママクラス、赤ちゃん教室等の子どもと保護者向けの講座や中学校いのちの教室の開催、子育てガイドによる情報発信 ・休日プレパパママクラス（12回、162組参加） ・赤ちゃん教室（90回、799組参加） ・中学校いのちの教室（5校）の開催 ・子育てガイド（西区子育て航海図）の発行（5,000部）
高齢者あんしん生活サポート事業	地域ケア会議の充実、脳の健康度チェックや認知症サポーター養成講座の開催による認知症理解の促進、講演会の開催やころばんよ体操、お元気活動応援マップの配布等による介護予防普及啓発 ・区レベル地域ケア会議開催（3月18日） ・脳の健康度チェックの実施（通年） ・介護予防講演会（6月 299名参加） ・地域における介護予防リーダーの育成、普及啓発の実施
3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり	28,665,536円
主な事業	事業内容 事業実績
地域連携推進・回遊性向上事業	地域資源を活用した回遊性向上やSDGsの啓発、地域活動支援等により、西区の魅力発信・まちのにぎわい創出を推進 ・花苗等の配布（延べ59か所）、フォトコンテスト実施（応募作品数：501点） ・にしくSDGsパネル展（7校62点の作品展示） ・西区地域づくり大学校修了生補助金交付（4件）
商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	商店街及び個店を巡るスタンプラリーの実施、80周年記念事業実行委員会と連携して横浜西区LOVEWalkerを発行 ・商店街及び個店を巡るスタンプラリーの実施（応募件数1,536件） ・商店街・個店などの情報を掲載した冊子「横浜西区LOVEWalker」の発行（35,000部）
4 安全・安心なまちづくり	19,745,178円
主な事業	事業内容 事業実績
地域防災活動推進事業	地域防災拠点の機能強化、感染症対策を含めた区本部の防災機能強化、自助・共助の推進 ・総務局、民間事業者協力のもと、帰宅困難者一時滞在施設開設訓練を実施（民間企業7社） ・西区崖地相談会の実施（計12組） ・木造住宅密集地域における減災対策の推進（感震ブレーカーの補助（174個）等） ・地域防災拠点（12拠点）にマルチチャージャー（スマートフォン等充電ハブ）を導入
西区「Zero Carbon」推進事業	環境行動推進功労者表彰式の開催、店頭啓発・環境学習の実施、地域の清掃活動支援 ・環境行動推進功労者の表彰（個人7名） ・店頭啓発の実施（6回） ・環境学習の実施（8回） ・地域へ清掃用具配付（8月）
5 親しみやすい区役所づくり	7,176,880円
主な事業	事業内容 事業実績
サービス改善推進事業	職員への窓口応対向上研修の実施など人材育成を進め、正確でわかりやすい行政サービスを提供 ・外部講師によるC S向上等を目指した応対マナーに関する研修を実施 ・C S、E S向上のための区役所の環境整備
区庁舎・区民利用施設環境整備事業	快適に利用できる区庁舎を目指し、窓口環境の改善及び窓口サービスの向上を実施 ・トイレ、空調設備等の改修による窓口環境等の改善 ・P H S電話機への改修による業務効率の向上
合計 (自主企画事業費決算額)	96,363,089円

令和6年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費） 施策体系別決算額

1 地域のつながりづくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	区制80周年記念事業	9,500,000	9,500,000	0	100.00%
2	地域活動事業	3,314,000	2,884,665	429,335	87.04%
3	西区「学び・つながり」支援事業	1,634,000	2,159,228	▲525,228	132.14%※1
4	西区ふれあい福祉推進事業	2,954,000	2,936,241	17,759	99.40%
5	「にこやか しあわせ くらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進	2,469,000	2,267,804	201,196	91.85%
小 計		19,871,000	19,747,938	123,062	99.38%

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	読書活動推進事業	1,689,000	1,581,996	107,004	93.66%
2	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,494,000	1,332,650	161,350	89.20%
3	区役所キッズスペース運営事業	5,159,000	5,156,718	2,282	99.96%
4	地域子育てサロン運営支援事業	338,000	288,550	49,450	85.37%
5	西区で子育て学び隊事業	3,987,000	3,804,357	182,643	95.42%
6	西区の保育施設つながり事業	570,000	547,837	22,163	96.11%
7	女性と子どものための相談支援強化事業	148,000	62,093	85,907	41.95%
8	健康づくり応援事業	1,739,000	1,725,453	13,547	99.22%
9	高齢者あんしん生活サポート事業	2,864,000	2,739,184	124,816	95.64%
10	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	3,949,000	3,788,719	160,281	95.94%
小 計		21,937,000	21,027,557	909,443	95.85%

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	広報充実事業	3,580,000	2,694,919	885,081	75.28%※2
2	地域連携推進・回遊性向上事業	5,337,000	4,755,589	581,411	89.11%
3	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	2,910,000	2,404,911	505,089	82.64%
4	西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	2,217,000	2,351,851	▲ 134,851	106.08%
5	西区民まつり	6,007,000	6,007,000	0	100.00%
6	ふるさと西区魅力発信事業	5,290,000	5,116,809	173,191	96.73%
7	地域文化振興事業	700,000	700,000	0	100.00%
8	スポーツ振興事業	4,639,000	4,634,457	4,543	99.90%
小 計		30,680,000	28,665,536	2,014,464	93.43%

4 安全・安心なまちづくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	西区「Zero Carbon」推進事業	3,147,000	3,092,178	54,822	98.26%
2	交通安全事業	2,937,000	2,839,323	97,677	96.67%
3	地域防災活動推進事業	12,530,000	12,156,075	373,925	97.02%
4	安心して暮らせるまちづくり推進事業	610,000	568,070	41,930	93.13%
5	食中毒・感染症予防対策事業	1,147,000	1,089,532	57,468	94.99%
小 計		20,371,000	19,745,178	625,822	96.93%

5 親しみやすい区役所づくり

(単位：円)					
番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	区庁舎・区民利用施設環境整備事業	5,039,000	4,176,886	862,114	82.89%
2	サービス改善推進事業	2,755,000	2,999,994	▲ 244,994	108.89%
小 計		7,794,000	7,176,880	617,120	92.08%
(単位：円)					
総 合 計		100,653,000	96,363,089	4,289,911	95.74%

主な増減理由（差引額±10万円以上かつ執行率が±20%以上の事業）

※1 西区今昔かるた増刷による増

※2 カタログポケット（多言語化ツール）の局事業化による減

3-(2) 令和7年度 西区主要事業の進捗状況

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ くらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 4,396千円(対前年度比 1,927千円増)】

西区では、「にこやか しあわせ くらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一緒に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和7年度は、第4期計画(令和3～7年度)の最終年度を迎えます。区制80周年で育まれた地域の皆さまのつながりを生かし、現在の計画を着実に進めるとともに、令和8年度から始まる次期第5期計画(令和8～12年度)の策定にも注力していきます。

次期計画の策定にあたっては、区全体計画、地区別計画とともに、令和6年度に実施した現行計画の振り返りを踏まえ、向こう5年間の目指す姿を見据えた計画を、地域や関連機関等と一緒に「オール西区」で進めています。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(4,396千円)【拡充】

① 「にこまちプラン」(第4期計画の推進、第5期計画の策定)

「区全体計画」については、計画の策定・推進に区役所一丸となって取り組み、重点的に進めます(府内プロジェクトチームの編成(4月))。また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進・評価委員会」(計2回：9月19日、1月16日実施予定)や「計画策定検討会」(7月14日実施)を開催し、第4期計画の推進と第5期計画の策定を進めています。第5期計画については現在、素案を作成中です。素案策定後、区民意見募集(10月実施予定)を行い、計画を確定していきます。



府内プロジェクトチーム

■参考：第5期にこまちプラン「計画策定検討会」

【開催日】令和7年7月14日

【会場】西区役所3階A会議室

【内容】第5期にこまちプラン(区全体計画)

各目標の目指す姿やそれに向けた取組について
(意見交換) 等



計画策定検討会(7/14)

「地区別計画」については、地域における様々な課題の解決に向けて、引き続き、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザによる地区支援チームが連携し、地域の取組を支援していきます。また、第5期計画の策定についても、みなとみらい地区を含め全地区で検討が行われています。引き続き、地区支援チームがサポートしながら、地域の皆さんとともに進めていきます。



地区別計画の検討

② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の広報・啓発

地域活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とした「にこまちフォーラム」を開催します。今年度は、各地区が策定する第5期地区別計画を発表いただくほか、こどもたちの取組発表もあわせて実施する予定です（令和8年2月21日実施予定）。

また、広報よこはまの特集やオリジナル啓発ノベルティの配布のほか、転入者へのパンフレット配付（4月から開始）や西区ホームページなどを積極的に活用し、地区別計画の取組を広く周知していきます。

加えて、小・中学校への出前講座を実施する（※）など、引き続き「こども向け啓発」を進め、こどもたちやその親世代（現役世代）の参加意識を醸成し、新たな担い手の発掘・育成につなげます。

※小・中学校出前講座の実施

- 宮谷小学校：4月28日、5月30日実施
- 戸部小学校：5月8日、6月5日・24日実施
- 西前小学校：6月9日（2クラス）実施
- 西中学校：6月26日実施

令和6年度にこまちフォーラム



各地区的取組発表



宮谷小のミュージカル公演



防災講演会

■参考：令和7年度にこまちフォーラム（予定）

【開催日】令和8年2月21日

【会場】西公会堂

【内容】○各地区的第5期計画の発表

○第5期区全体計画の発表

○こどもたちの取組発表 等



こども向け啓発（小学校出前講座）

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,864千円(前年度同額)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築」に向けた「西区アクションプラン」に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(891千円)

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。また、オンラインツール等を活用した広報により、関心が希薄な方々へPRしていきます。(11月～)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザー派遣や、有識者の講師を招聘します。

(2) 認知症等高齢者支援事業(964千円)

① 軽度認知障害（MCI）・認知症の理解、早期対応の機会づくりの促進

認知症の理解と早期対応の機運を高めるため、区民が気軽に脳の健康チェックができる機会をつくるとともに、予防につながる活動を推進し、必要な方にはもの忘れ検診等、必要な支援につなげます(通年)。

軽度認知障害と診断された方に対し、認知症予防のポイントと予防につながる活動ができる地域の居場所について紹介したリーフレットを、地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と連携し、配布します。(通年) また、軽度認知障害（MCI）や認知症初期と診断された方の診断後支援の一環として、重症化予防に効果がある運動に取り組める機会づくりを行います。(6月19日、30日、7月7日実施、延べ13名参加、10月23日、11月6日、20日実施予定)。

② 認知症サポーター養成講座・普及啓発人材育成研修の実施（健康福祉局 区配事業含む）

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

また、認知症キャラバン・メイト(登録者数188名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(6月27日 参加者22人、令和8年2月25日予定)

(3) 健康づくり・介護予防事業(1,009千円)

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防普及啓発の実施

(健康福祉局 区配事業含む)

西区の健康課題であるフレイル予防（オーラルフレイル及び低栄養予防）の重要性を啓発するため、東京都健康長寿医療センター歯科医師、栄養士による講演会を開催しました。(5月30日 参加者150名)。

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数21名)等の人材育成研修を開催(6月24日 参加者14名)し、地域における体力チェック等の活動の充実を図ります。

地域の身近な居場所における、オーラルフレイルを切り口とした介護予防啓発を実施します。(通年)



令和7年度介護予防講演会の様子

■参考：令和7年度 介護予防講演会

「長寿の秘訣はお口にあり！？食べるチカラを守る習慣」

【講師】平野 浩彦 氏（東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長<歯科医師>）

本川 佳子 氏（東京都健康長寿医療センター研究所研究員<管理栄養士>）

【開催日】令和7年5月30日 西公会堂 ホール

【対象者】西区在住・在勤の方

③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットを配布し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「西区お元気活動応援マップ」

西区内の介護予防に関する取組の紹介

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額4,354千円(対前年度比 405千円増)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、障害者が自ら望む生活の選択や居住確保に向けた支援をしながら、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,557千円)【拡充】

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

地域防災拠点訓練等の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等について、ミニ講座などで啓発していきます。

■参考：令和7年度地域防災拠点訓練等での障害啓発（予定）
【実施日・場所】9月7日(日) 老松中学校、西前小学校



令和6年度地域防災拠点訓練



障害者施設利用者の作品展示

(神奈川大学みなとみらいキャンパス
エントランスホール)



障害施設紹介リーフレット「西区Style」

■参考：令和6年度西区防災フェスタ
【実施日】令和7年2月24日(月祝)
【場所】生活創造空間にし 250名

③ 地域住民への啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」を区民まつり等の機会で一般の方に配布します。(通年)

④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。(通年)



障害者通所施設利用案内「にしナビ」

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(597千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時に充電ができる場所として、区内の福祉避難所 6 カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年 6 カ所)

③ 地域防災拠点（指定避難所）への対応

電源を要する医療機器を使用している方が災害時に充電できるように、令和 5 年度から地域防災拠点に発電機を配付して医療用充電ステーションとして整備しています。12か所の地域防災拠点のうち年間 3 ケ所ずつ配付しており、令和 7 年度末には 9 拠点への配付を完了する予定です。

また、障害当事者が地域防災拠点に避難した際に、配慮が必要な状態が分かるよう黄色のバンダナの配布を進めます。



医療用充電ステーション用発電機

■参考：医療用充電ステーション用発電機配付済み地域防災拠点
一本松小学校、軽井沢中学校、老松中学校、戸部小学校、
稲荷台小学校、浅間台小学校

(3) 障害者の地域生活支援事業(200千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるため、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレット「じぶんらしく、にしく」

(令和 5 年度作成) を障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布し理解を促進します。(通年)



リーフレット「じぶんらしく、にしく」

エ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区子育て支援事業、地域の力を生かしたスクールサポート事業、西区の保育施設つながり事業)

【予算額 6,807千円(対前年度比 756千円増)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

(1) 西区子育て支援事業(4,532千円)【拡充】

① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーが妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶための「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち参加ニーズの高い沐浴・おむつ交換などの体験を行う講座は、引き続き休日にも開催します。その他、委託により地域子育て支援拠点でも実施します(年6回)。

※5月10日(土) 区役所実施：18組参加

5月31日(土) 委託実施：9組参加

7月12日(土) 区役所実施：20組参加

7月26日(土) 委託実施：12組参加 (委託実施会場：スマイル・ポート)

また、7年度は、父親のより積極的な育児参加につながる知識や心構えを学ぶ機会として、新たに「プレパパ向け」の講座を開催します。父親同士がコミュニケーションをとりながら、児の成長発達や母親の心身の変化を理解し、主体的に育児に取り組める機会となることを期待しています。

※8月27日(水)：9組参加

12月13日(土) 実施予定

これらの講座により、“親になる前からの支援”を充実させ、赤ちゃんの誕生を父母がともに安心して迎え入れ、一緒に子どもを育てる大切さを学ぶ機会としていきます。

② よちよちパパママ育児教室

母子訪問や乳幼児健診などで、赤ちゃんが泣いたときの対応や抱っこの仕方、抱っこ紐の使い方が分からず不安という相談が増加しています。そのため、初めてのお子さん(生後1か月～4か月)を持つ保護者を対象に、安全な抱っこ方法や、安心して外出できるための知識や技術の獲得を目的とした育児教室を開催します。

さらに、乳幼児期のお出かけ先などの情報提供を行い、教室終了後も親子で地域子育て支援拠点や子育てサロン等へ外出ができ、身近な場所で悩みを解決しながら安心して子育てができるることを目指します(年6回)。(定員：5組程度)

※これで抱っこがしたくなる！「ぎゅっと！」

4月4日(金) 実施：4組参加

6月20日(金) 実施：4組参加

8月1日(金) 実施：3組参加

10月3日(金)、12月5日(金)、令和8年2月20日(金) 実施予定



プレパパママクラス

③ 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で実施します（年10回×9会場）。

様々なプログラム（歯みがき、離乳食、親子遊び、子どもの救急蘇生法と事故予防、防災）により情報を提供し、初めての子育てをサポートします。

※4～7月実績：31回開催 計217組、463名参加



赤ちゃん教室

④ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校（全5校）の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。助産師による性教育を通じて、生徒自身が正確な知識と情報を持ち、安全な性行動を選ぶことを学ぶ機会とします。また、命の尊さを伝えることにより、自分自身も大切な存在だと感じ今後の人生において主体的に意思決定していく力を身につけることにもつなげていきます。実施にあたっては、新たに地域子育て支援拠点との連携を図ります。

⑤ その他の子育て支援の推進

子育て応援ガイドや保育施設等一覧の作成により子育て情報の発信・提供などを行います。

また、子育て世帯がより手軽に情報を得られるよう、「パマトコ」の活用やオンライン上での動画配信などを行います。（なお、手続きのオンライン化等によるニーズの減少を踏まえ、区役所1階のキッズスペースは6年度末をもって廃止しました。）



表紙



中面（抜粋）

子育てガイド（西区子育て航海図）

（2） 地域の力を生かしたスクールサポート事業（1,575千円）

【拡充】

こどもたちの安全で健やかな日常を確保することを目的とし、新小学1年生を対象とした防犯ブザーの配布や小・中学生を対象とした危機管理教室を実施します。また、放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ職員を対象とした区主催の人材育成研修を新たに実施します。

※危機管理教室：（5～8月実績）：小学校8校と中学校1校で開催 児童受講者数 約2,000人

※人材育成研修：11～1月に区役所で開催予定



人材育成研修（イメージ）

(3) 西区の保育施設つながり事業(700千円) 【拡充】

区内の子育て関連施設が連携して、各地区に出向き、育児講座を開催します。また、保育の質のさらなる向上に向け、保育施設を対象とした研修を新たに実施します。

さらに、西区唯一の市立保育所である南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業を実施します。

※出前合同育児講座（5～8月実績）：5地区5会場で開催
73組、154名参加

※保育の質向上に向けた研修（横浜市立大学 三輪律江教授による研修）：8月20日（水）実施 12施設、22名参加



地域の親子に向けた育児支援の様子

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

才 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 7,146千円(対前年度比 1,809千円増)】

企業等と協働し、地域資源を活用した区内の回遊性向上を図るとともに、GREEN×EXPO 2027の開催や環境に配慮したライフスタイル等の機運を醸成します。また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取り組みを支援するとともに、身近な地域課題の解決に取り組みます。

(1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(4,145千円)【拡充】

にしく緑花サポーター制度の推進や、GREEN×EXPO 2027の機運醸成、横浜駅の環境向上・美化の推進、「温故知新のみち」を活用した区内の魅力資源の周知・発信を行います。

① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「にしく緑花サポーター」登録団体等への花苗等の配布を通じて、花と緑のまちづくりを推進します。

また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し区内の回遊性を高めるほか、脱炭素化の取組を加速化させていくためにも、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて区内の機運醸成を図ります。



■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】31か所(令和7年8月末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：16か所

公共施設等 : 15か所

にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

② 横浜駅西口周辺での公民連携による美化・環境向上の推進

GREEN×EXPO 2027に向け、来街者の増加が見込まれる横浜の玄関口である横浜駅周辺において、美化・環境向上に取り組みます。地域と事業者及び行政の協働で行っている「きれいなまちづくり検討会」が、より具体的な取組ができるよう必要な経費を支援します。

◇行政・地域団体・企業の連携による横浜駅西口周辺の環境向上◇

横浜駅西口周辺は商業施設や飲食店が数多く立地し、国内外からの来街者が多い、活気あふれるエリアです。一方、たばこのポイ捨て、路上ごみの散乱、客引きが目立ち、清掃や防犯活動に自治会、商店街、エリアマネジメント団体の皆様が、日々取り組んでいます。

2年後のGREEN×EXPO 2027に向け、横浜駅を訪れる方が、安心して快適に滞在を楽しめるよう、新たにIoTごみ箱の運営支援や「きれいなまちづくり検討会」の活動を支援します。※予算総額：200万円（詳細は才(1)(2)及び19ページケ(2)(2)を参照）



西口周辺の清掃活動

③ まち歩きルートの啓発等

まち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の魅力資源を周知・発信し、区内の回遊性向上を図ります。また、区内に設置している案内サインについて維持管理を行います。

(2) 環境行動推進事業(2,021千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 環境行動推進の取組

脱炭素など環境に配慮した具体的取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、区内企業と連携した参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」(7月～9月)等を実施します。

■令和7年度にしくSDGsチャレンジ～ビンゴを目指せ!脱炭素～
チャレンジする取組の難易度が異なる2種類のビンゴカードを用意し、こどもから大人まで幅広い世代の方々に、ビンゴを楽しみながら脱炭素行動の取組を促進します。

【脱炭素行動の例】

- ・節水、節電
- ・ごみの分別
- ・緑のカーテン
- ・フードドライブ
- ・食品ロス削減SDGsロッカー 等

10,000部発行、区内小中学校・区民利用施設等にて配布



にしくSDGsチャレンジ冊子と
ビンゴカード

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展（1～3月予定）を開催します。

■参考：「にしくSDGsパネル展」

【実施期間】令和7年1月15日～令和7年3月11日

【事業概要】西区の若い世代が作成した絵画などの作品を展示

【会 場】市庁舎及び区内4会場にて巡回展示

【参 加 校】7校 【作 品 数】62点



「にしくSDGsパネル展」
横浜新都市ビル9階

(3) 地域連携交流事業(980千円)【拡充】

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域活動の支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、地域と行政間のコミュニケーション手段として、デジタルツールを試行的に活用します。引き続き、包括連携協定を締結した神奈川大学との連携強化を図ります。

① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生が地域活動を円滑にスタートできるよう、最大3年間の補助金交付を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するために、まちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 地域と行政の情報共有プラットフォームの試行

主に自治会町内会と西区でデジタルツール(LINWORKS等のアプリ)を活用した情報共有を行い、地域の負担軽減・連携強化を図ります。

④ 神奈川大学との連携

神奈川大学との包括連携協定に基づき、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めていきます。

■参考：神奈川大学との連携実績例

令和7年度：

①神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト(5月～)

②神奈川大学みなとみらいキャンパスの大型サイネージに、西区PR動画の放映(4月～8月)



ホップ栽培プロジェクト
(ホップ収穫中)

力 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額 2,910千円(前年同額)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。

(1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,360千円)

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」を開催し、商店街や個店への誘客促進を図り、併せて、まちの賑わい創出につなげます。

■令和7年度開催概要

事業名：西区商店街スタンプラリー

開催期間：10月1日（水）～11月30日（日）

対象店舗数：12商店会144店舗

■参考：令和6年度実施内容

事業名：西区ぱくぱく&てくてくスタンプラリー

実施期間：8月19日（月）～9月30日（月）

対象店舗数：172店舗

12商店会：152店舗
横浜西区LOVEWalker掲載：20店舗

応募件数：1,536件（総スタンプ数：3,880個）

【参加者からの主な声】

- ・普段行かない店に行ったり、スタンプをもらうために500円以上の商品を購入したりするので、少し財布の紐がゆるくなります。
- ・最近忙しくネットスーパーを多用していたが、休日に子どもと商店街を歩いて買い物をする良い機会になりました。



スタンプラリー冊子(令和7年度)



専用アプリ不要。
二次元コードを読み取ってスタンプを貯めます。

デジタルスタンプラリー

(2) 西区情報発信事業(550千円)

西区内の商店街の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していただく機会として、フォトイベントを開催します。商店街にまつわる写真を募集し、撮影のために商店街を訪れる機会を増やすことで商店街の活性化を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。

■令和7年度実施概要

事業名：西区商店街フォトコンテスト

募集期間：8月1日（金）～9月30日（火）

募集テーマ：「ここがおすすめ！！西区商店街の魅力」

応募資格：プロ・アマ問わず、西区商店街に愛着のある方

応募作品数：18件（8月31日現在）



西区商店街フォトコンテストチラシ

キ スポーツ振興事業

(地域振興課)

【予算額 4,339千円(前年度比 300千円減)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

また、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを通じて地域に愛着を持つ機会を創出します。

(1) トップスポーツチームとの連携 (180千円)

横浜市のトップスポーツクラブと連携し、「区民DAY」の開催や小中学校等への出前授業を実施することで、区民へのプロスポーツを体験する機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

① 区民DAYの開催

【横浜FC】ホームゲーム優待・招待

開催日：9月28日（日）

場 所：ニッパツ三ツ沢球技場

対象者：西区内在住・在勤・在学（在園）の方々
とそのご家族先着1,000名様

【横浜エクセレンス】ホームゲーム優待・招待

開催日：令和8年1月24日（土）・25日（日）

場 所：横浜武道館

対象者：調整中



にし区民 DAY (横浜 FC)

(令和 6 年度)

② 出前授業の実施

【横浜ビー・コルセアーズ】

- ・6月30日（月）南浅間保育園 実施
(B.HOPEアクティブチャイルドプログラム)
- ・9月12日（金）一本松小学校（職業講話）
- ・9月16日（火）平沼小学校（職業講話）
- ・9月16日（火）東小学校（バスケットボール教室）
- ・11月28日（金）岡野中学校（職業講話）

【横浜エクセレンス】（バスケットボール教室）

- ・12月10日（水）稻荷台小学校
- ・1月13日（火）宮谷小学校
- ・1月14日（水）一本松小学校



©B-CORSAIRS

横浜ビー・コルセアーズによる B.HOPE

アクティブチャイルドプログラム

(南浅間保育園)

(2) インクルーシブスポーツの推進（1,184千円）

西区民まつりにおいて、インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

開催予定日：令和7年11月2日（日）

開催場所：西前小学校体育館

■参考：令和6年度実績

【開催日】令和6年11月10日（日） 西前小体育館

【参加者数】約3,830人（延べ人数）

（種目別参加者数）ポッチャ：830人

風船バレー：1,040人

レーシング用車いす体験：920人

車いす走行体験：1,040人

【協力団体】横浜市スポーツ協会、さわやかスポーツ普及委員、

横浜ラポール、バセル、スポーツ推進委員、青少年

指導員、西スポーツセンター



レーシング用車いす試乗体験の様子
(令和6年度)

(3) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(2,200千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区ハマのウォーキングフェスティバル実行委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを実施します。

開催日：令和7年11月30日（日）

コース：東海道コース（約7.4km）

横浜道コース（約6km）

■参考：第18回西区ハマのウォーキングフェスティバル

【開催日】令和6年12月1日（日）

【参加者数】1,270名

【コース】大さん橋コース（長距離/約8km）

ドックヤードコース（短距離/約4km）



ゴール会場（臨港パーク）（令和6年度）

(4) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

ク 藤と季節の花がつなぐまちづくり事業

(西土木事務所)

【予算額 5,000千円(対前年度比 2,783千円増)】

西土木事務所管理の10公園には藤棚が設けられているなど、区内には町名にも使われている「藤」の木が多く、西区の地域資産となっていますが、春の開花時期に花が咲き広がらない藤棚も存在します。公園藤棚の再生に向けた適切な維持管理は継続しつつ、ご家庭でも育てられる鉢植え藤（一才藤）に関する管理講習会を専門家に委託して開催することで、区民の方に「藤」をより身近に感じてもらえるような取組を推進します。

また、西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることのできる貴重な場となっています。花壇を有する区内の公園に対し、季節感のある花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことで地域のつながりを形成しつつ、「公園のまちヨコハマ」を推進し、GREEN×EXPO2027の機運醸成を図ります。

(1) 藤の花再生・拡充の推進(1,201千円)【拡充】

① 公園藤棚の再生・維持管理

藤棚において、花を一面に咲かせるには適切な維持管理が必要です。中でもツルの誘引、花芽を意識した冬の剪定は開花に必要な重要な作業となることから、土木事務所における区内10公園の藤棚の日常的な維持管理に加えて、冬季の藤棚剪定については専門家へ委託して実施する公園（6年度：5公園）を増やすことで藤棚の再生を図っていきます。（通年）

② 専門家による鉢植え藤の管理講習会

より身近に藤を感じてもらえるよう、鉢植えでも生育が可能で、幼木のうちから開花する性質を持つ藤（一才藤）の普及啓発を図ります。

区民の方へ藤の魅力を伝えていくため、広報等も活用しつつ、鉢植え藤の育て方等について学ぶことができる講習会（6年度実施：10名参加）を、藤の専門家へ委託して開催します。（2～3月頃開催予定）

③ 藤に関連した取組の情報発信

令和元年度に発足した「藤の花再生プロジェクト」の取組に絡め、公園藤を含めた区内の藤棚スポットのPRや他の藤に関連した取組について、Xやホームページ等を活用して随時情報発信を行います。（通年）
（Xで藤の管理状況や様子を発信）

(2) 公園・施設等の緑化推進(3,799千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

区内32公園において花苗や球根の提供を行いつつ、公園愛護会や地域の子どもたちにも参加してもらう形で協働による花苗植えを引き続き行っています。

加えて、季節の移り変わりを感じてもらえる花苗等の選定に加え、宿根草を組み合わせることで植替え時の手間や費用を抑える持続可能な取組としていきます。（年2回、32公園）（春花植え参加者：319名）



戸部公園の藤棚開花状況(4月21日)



管理講習会の様子



大谷公園での花苗植えの様子

安全・安心なまちづくり

ケ 西区 みんなでエコアクション！推進事業

(地域振興課)

【予算額 3,851千円(前年度比 704千円増)】

横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、ごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を引き続き目指していきます。

「ヨコハマ プラ5.3（ごみ）計画」に基づき、脱炭素社会の実現に向け新しいプラスチックごみの分別ルールの定着や使い捨てプラスチックの削減（リデュース）などに取り組み、身近な脱炭素への取組を各家庭で取り組んでいただけるよう、丁寧に呼びかけていきます。

また、対面を中心とした環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、豊かな地球環境を次世代に残すため事業効果の最大化を図ります。

さらに、GREEN×EXPO2027開催に向け首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区をはじめとして、きれいな街づくりを推進し、美化・清掃活動を積極的に行います。

(1) 環境に配慮した行動推進事業(1,110千円)

① ごみの減量・リサイクルの推進、ごみの発生抑制、食品ロス・手つかず食品の削減、プラスチック削減

環境行動推進本部総会及び西区環境行動功労者表彰を実施し、3Rの推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を行いました。（6月19日表彰式実施）

■参考 R7年度 個人11名、団体3名



令和7年度 表彰式の様子

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広く関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時に環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用しました。

また、企業と連携した取組として、環境問題を身近に感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを、にぎわいを見せる横浜駅西口で開催しました。（JR横浜タワー2階アトリウム 6月14日）

■参考 R6年度 店頭啓発実施回数 7回

デジタルサイネージを活用した啓発では企業と連携し、フードロス問題と防災を絡めるなど、区民の関心の高い内容で行うことにより、効果的な啓発を引き続き実施していきます。

■参考 無印良品 NEWoMan YOKOHAMA店



プラスチックフリー啓発物品の例



デジタルサイネージを活用した視認啓発の例

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座の実施。

講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童のリサイクルに対する理解度を高めています。

受講後のアンケートも取り入れ、子育て世代をターゲットに分別ルール変更の認知度向上や、脱炭素行動につながるよう取り組みます。(8月末：4校実施)



リサイクル講座（エコキャンドル作り）の様子
（一本松小学校放課後キッズクラブ）

(2) 清潔できれいな街づくり推進事業（2,741千円）【拡充】

① 地域清掃活動の支援

- ・自治会・町内会へ清掃用具の配布。（8月配布済）
- ・区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献清掃活動の支援。
- ・企業・団体等による清掃活動（WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER 8月末：83団体3増）の支援と、横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーン（雨天中止）、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施。



横浜平沼高校生徒による清掃活動

② きれいな街づくりの推進

- ・地域・事業者・行政で立ち上げた検討会にて、地域課題の吸い上げや、ポイ捨ての多いエリア・時期に清掃委託の実施を検討することで、街の美化・環境改善の拡充を図ります。(6月9日令和7年度第1回開催)
 - ・ポイ捨て対策として、帷子川沿いのポイ捨て禁止看板や新田間川遊歩道で実施している横断幕・ポイ捨て抑制路面シールによる啓発を継続。
 - ・GREEN×EXPO2027に向け、多くの来街者で賑わう横浜駅西口のきれいな街づくりの推進のため、スマートごみ箱設置事業者へ補助金を交付し、支援を行います。
- ※スマートごみ箱とは、IoT（Internet of Things）技術を活用した次世代型ごみ箱のことです。



クリスマス清掃イベント



スマートごみ箱「SmaGO」

□ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)(生活衛生課)
【予算額 20,285千円(対前年度比 7,755千円増)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向けて、横浜市地震防災戦略（令和7年3月改定）も踏まえ、地域防災拠点訓練や防災・減災啓発活動等を実施し、地域防災拠点の機能強化及び自助・共助の推進を図ります。

また、各種災害に備え関係機関と連携した防災訓練を実施するなど区本部機能を強化するとともに近年増加する局地的大雨に対応できるように河川水位情報伝達システムを更新します。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,160千円)【拡充】

① 円滑な避難所運営に向けた支援

円滑な地域防災拠点(以下、「拠点」)が運営できるよう、資機材や備蓄品の維持管理に努めます。

② 地域防災拠点訓練の実施と多様な避難者への対応支援

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(各拠点 年1～2回 実施時期：通年)

地域防災拠点において多様なニーズ（妊娠婦・乳幼児、高齢者、障害者、外国人等）に対応できるように、関係する各課、団体等と連携した支援を行います。また、ペット同行避難者への対応支援として、各拠点にペット一時飼育場所開設キットを配付します。



浅間台小学校地域防災拠点訓練
(令和6年度)

(2) 区本部の防災機能強化(15,727千円)【拡充】

① 震災・風水害対策の強化

災害シミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部機能を強化するとともに、区社会福祉協議会と連携し災害ボランティアセンターの設置訓練等を実施します。さらに帰宅困難者対策として帰宅困難者一時滞在施設に対し受け入れシミュレーション訓練を実施します。

- ・風水害対策訓練(5月16日実施 参加26人)
- ・震災対策訓練 (6月27日実施 参加79人、1月)
- ・災害ボランティアセンター設置訓練 (10月)
- ・帰宅困難者受け入れ訓練 (6～8施設、12月)



震災対策本部訓練
(令和7年度)

② 河川水位情報伝達システムの更新

河川の水位が上昇した際に周辺住民等に対して水位情報や避難指示を発報するため平成17年度に設置した、河川水位情報伝達システム（情報処理装置及びスピーカー5カ所）の更新を実施します。



河川スピーカー位置図

③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)やのぼり旗掲出訓練(年3回)、医療救護隊検討会、医療救護隊巡回訓練、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会議(2～3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(3,398千円)

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

相談者の満足度が非常に高い、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。

令和7年6月22日（日）、23日（月）実施（計12組）

西区役所



崖地相談会の様子（令和7年度）

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカーの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、自治会・町内会等への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携して啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年の実績

【感震ブレーカー補助実績】

- ・令和4年度：2団体・90個
- ・令和5年度：2団体・15個
- ・令和6年度：4団体・174個

【初期消火器具更新実績】

- ・令和4年度：1団体・1基
- ・令和5年度：2団体・2基
- ・令和6年度：1団体・1基

③ 区民への防災・減災の普及啓発

多世代への防災・減災啓発を目的に、消防、警察等と連携して防災イベントを実施します。（10月）

また、赤ちゃん教室での防災講話（年9回）の新規実施、子育て世代への防災啓発グッズの配布（令和7年7月末：258個）、日本語教室などの場を活用した在住外国人への啓発、広報よこはま西区版で防災特集による啓発、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーなど、あらゆる機会を捉え、防災啓発を実施します。



防災イベントの様子（令和6年度）



子育て世帯への防災啓発グッズ（令和7年度）

令和8年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)

1 予算編成の基本方針

西区の基本目標である「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち」の実現に向け、「子育てしたいまち、次世代を共に育むまち」「市民目線」「スピード感」の視点を持ちながら、子育て支援をはじめ、あらゆる世代の皆さまへのサービス向上に向けて各事業を展開します。

令和8年度は「にこまちプラン」の第5期計画（令和8～12年度）の最初の年度であり、区制80周年で育まれた地域の皆さまのつながりを生かしながら、新たな計画を着実に推進します。また、おおむね20年後の西区の将来を見据えた中長期にわたる方向性についてまとめる都市計画マスターplan西区プランの改定に向け、検討を進めています。

横浜市では、脱炭素社会の実現に向け、2030年度温室効果ガス排出削減目標を50%削減（2013年度比）とし、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指す取組を行っています。脱炭素社会の実現に向けた姿を世界に発信するGREEN×EXPO 2027の開催に向けた機運を醸成するとともに、玄関口となる横浜駅周辺の環境整備などに取り組み、脱炭素のための持続可能で環境に配慮したライフスタイルへの転換などSDGsの啓発を行います。

これらの目標の実現に向けた主な取組として、自然災害に備えた防災・減災の取組みや、警察とも連携した安全安心な街づくりを目指した防犯対策、誰もが自分らしさを生かして活躍する社会参加を促進する地域づくり、インクルーシブな社会の実現などに取り組みます。また、自治会町内会をはじめとする地域のあらゆる担い手の連携促進により持続可能な地域づくりに向けた「地域連携」の充実を目指すとともに、地域でのDXの取組を支援していきます。こどもから高齢者まであらゆる世代の健康づくり、妊娠期から学齢期にかけて切れ目のない子育て支援を行います。

予算編成にあたっては、第5期「にこまちプラン」策定の過程でいただいた意見や広聴で寄せられた意見などを参考にしていくとともに、実施にあたっては、区民が各事業の効果を最大限実感できるよう、取り組んでいきます。

2 重点項目

(1) 地域のつながりづくり

新たに策定された西区の総合的な計画である西区地域福祉保健計画（にこまちプラン）の第5期計画を推進し、地域主体の取組、課題解決の場づくりや新たな担い手づくりを支援します。また、地域包括ケアシステムの構築に向けた「西区アクションプラン」の振り返りを行い、令和9年度からの次期プランの策定準備に取り組みます。地域や活動者の声に寄り添い、支援を続け、活動の維持発展に向けた新しい手法も検討し、実践します。

(2) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

こどもから高齢者まで誰もが健康に暮らせる環境づくりとして、切れ目のない子育て支援、高齢者への活動のサポート、障害の理解を深める啓発、感染症予防、生活習慣病予防などの健康づくりを進め、インクルーシブな社会の実現に取り組みます。

(3) まちの回遊性向上とにぎわいづくり

GREEN×EXPO 2027の開催に向け、脱炭素やSDGsなどの関連する取組を併せて行い、一体的で効果的な機運醸成を実施します。地域・企業の皆さまによって連綿と培われてきた「にぎわい」を継続させるため、西区の歴史や地域資源を生かした伝統的な催事を、地域・企業の皆さまと協働で実施し、西区の魅力発信・まちのにぎわい創出につなげます。また、都市計画マスターplan西区プランの改定に向けた検討を行います。

(4) 安全・安心なまちづくり

要援護者対応に係る自助・共助の取組の支援、横浜駅やみなとみらい地区等の大規模施設、複数の危険密集市街地、土砂災害特別警戒区域等を抱える西区の特性に応じた防災・減災対策、地域と連携した防犯・交通安全対策、企業等との協働による脱炭素化、横浜駅周辺の美化などに力を入れて取り組みます。

(5) 親しみやすい区役所づくり

区民に親身に寄り添って支援できる持続可能な区役所として、デジタルの力を活用して手続きの負担を軽減するなど、区民の皆さんに寄り添った、きめ細かな窓口サービスを提供するとともに、誰もが安心して快適に施設を利用できるよう、区庁舎及び区民利用施設の環境改善を行います。

3 予算編成の進め方

- (1) 事業の検討にあたっては、「にこまちプラン」策定に係る区民アンケートやデジタルプラットフォームをはじめ、様々な機会を通じていただいた区民のご意見・ご要望を予算編成に活かすよう努めます。また、「チーム西区役所」としての総合力を発揮し、区役所各課のみならず、関係局と事業内容について十分に連携・調整を図ります。
- (2) 地域の新たなニーズや課題に対応するため、全ての事業について、課題認識を新たにし、「市民目線」からの必要性や効果、事業手法等の検証を行うことにより、積極的な見直しを実施します。
- (3) 区民に親身に寄り添って支援できる持続可能な区役所として、生成AIをはじめとしたデジタル技術の積極的な活用を図るほか、市全体の施策推進・予算編成・組織運営の重点方針に即して予算編成を進めます。

【参考】西区における開発動向等

地図	概 要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(約60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(82mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線の整備を進めています。</p> <p>岡野公園の野球場の一部に雨水幹線の立坑を設置する工事は令和7年8月に完成しました。令和5年12月着手した雨水幹線のシールド工事は、神奈川区の神奈川公園内のシールドマシンが発進するための立坑が完成し、令和7年9月の発進に際して、それを記念した式典を実施予定です。また、楠ポンプ場と岡野公園を結ぶ楠支線について令和8年度の発注に向け設計を進めています。引き続き工事を進め、供用開始は令和12(2030)年度を予定しています。</p> <p>また、新たに整備する雨水幹線に横浜駅周辺の約140ヘクタールに降った雨を取り込むため、地域の雨水を排水している下水道管の増強などの工事を実施していきます。令和7年度からは事前調査として管きょの測量及び他企業の地下埋設物等の位置を確認するための試掘工事を実施しています。また、この結果を元に設計を進め、7年度後半からは本格的な下水道工事に着手していきます。</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地</p> <p>令和元年7月に供用開始した桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、各種イベントの開催など利活用を行っています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。</p> <p>7年度は、補強等が困難な浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物の撤去工事を進めるとともに、魅力ある歩行者空間を目指し路線の基本計画の見直しを進めています。</p>
③	<p>野毛山動物園の再整備</p> <p>野毛山動物園リニューアルの先行整備として、ふれあいコーナーへの屋根設置やなかよし広場の休憩所の建替え、園内トイレの改修等を行い、令和7年4月22日に供用開始しました。</p> <p>引き続き、リニューアルプランに基づき、バリアフリーへの対応、老朽化対策、動物の飼育環境の改善など、更なる魅力向上に向けて取り組みます。</p>
④	<p>中央図書館におけるのげやま子ども図書館整備</p> <p>中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる、居心地の良い“子ども図書館”としてリニューアルします。また、誰もが使いやすい図書館となるようインクルーシブな環境づくりを進めます。</p> <p>「おやこフロア」を令和7年4月22日にオープンしました。引き続き「こどもフロア」の整備を進めます。</p>
⑤	<p>多機能型拠点整備（旧青少年交流センター跡地）</p> <p>西区老松町の旧青少年交流センター跡地を市内5館目の多機能型拠点整備用地とし、運営法人の公募を実施しています。（令和10年度開所予定）</p>
⑥	<p>野毛山公園プール跡地公園整備（土地面積 約6,200m²）</p> <p>プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。</p> <p>引き続き、周辺のまちづくりの動向をふまえ検討を行います。</p>

西区開発動向分布図



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口

①中央西口駅前広場については、令和5年1月に屋根整備が完了しました。GREEN×EXPO 2027 開催に向けた駅前広場の完成を目指し、バスタークーラー内の車道舗装については令和6年度から3か年で段階的に整備を進めています。また、令和7年6月からタクシートークンの交換を解消し、歩道舗装の更新等を行う工事に着手しました。

②きた西口駅前広場については、令和6年9月に屋根整備が完了しました。GREEN×EXPO 2027 開催に向けた駅前広場の完成を目指し、令和7年6月に高欄整備工事に着手しました。高欄整備後は、植栽・舗装等の整備を進めます。

横浜駅東口

横浜中央郵便局周辺における民間街区（ステーションオアシス地区の東側エリア）について、日本郵政不動産、JR東日本、京急電鉄を事業協力者として、令和6年6月に市街地再開発準備組合が設立され、組合において早期事業化に向けて、事業計画などの検討を進めています。

また、出島地区について、東口臨海地区連絡協議会を令和6年7月に再開し、中長期の視点での将来像の検討を進めています。

これらに関連する施設として、駅前広場やデッキ、支線1号線等、東口全体の基盤整備計画について横浜市が中心となり検討を行っています。

①	中央西口駅前広場 令和元（2019）年7月～ 令和5（2023）年1月 屋根完成 令和6（2024）年～令和8（2026）年 駅前広場 車道舗装整備 令和7（2025）年6月～ 駅前広場 歩道舗装工事着手
②	きた西口駅前広場 令和元（2019）年7月～ 令和3（2021）年4月 エレベーター供用開始 令和6（2024）年9月 屋根完成 令和7（2025）年6月～高欄設置工事着手
③	横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル） 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等 平成29（2017）年度 再開発組合設立 令和元（2019）年度 建築工事着手 令和5（2023）年度 再開発建物竣工 令和6（2024）年度 交通広場供用開始 令和7（2025）年度 事業完了予定
④	横浜駅みなみ東口地区（ステーションオアシス） 事業者：横浜駅みなみ東口地区市街地再開発準備組合 階数・高さ（予定）：地上45階/地下3階、約218m 用途（予定）：オフィス、商業、ホテル等 令和6（2024）年6月 市街地再開発準備組合設立 令和7（2025）年4月 環境アセスメント手続開始 令和10（2028）年度 工事着手（予定） 令和19（2037）年度 竣工（予定）

【全体スケジュール】

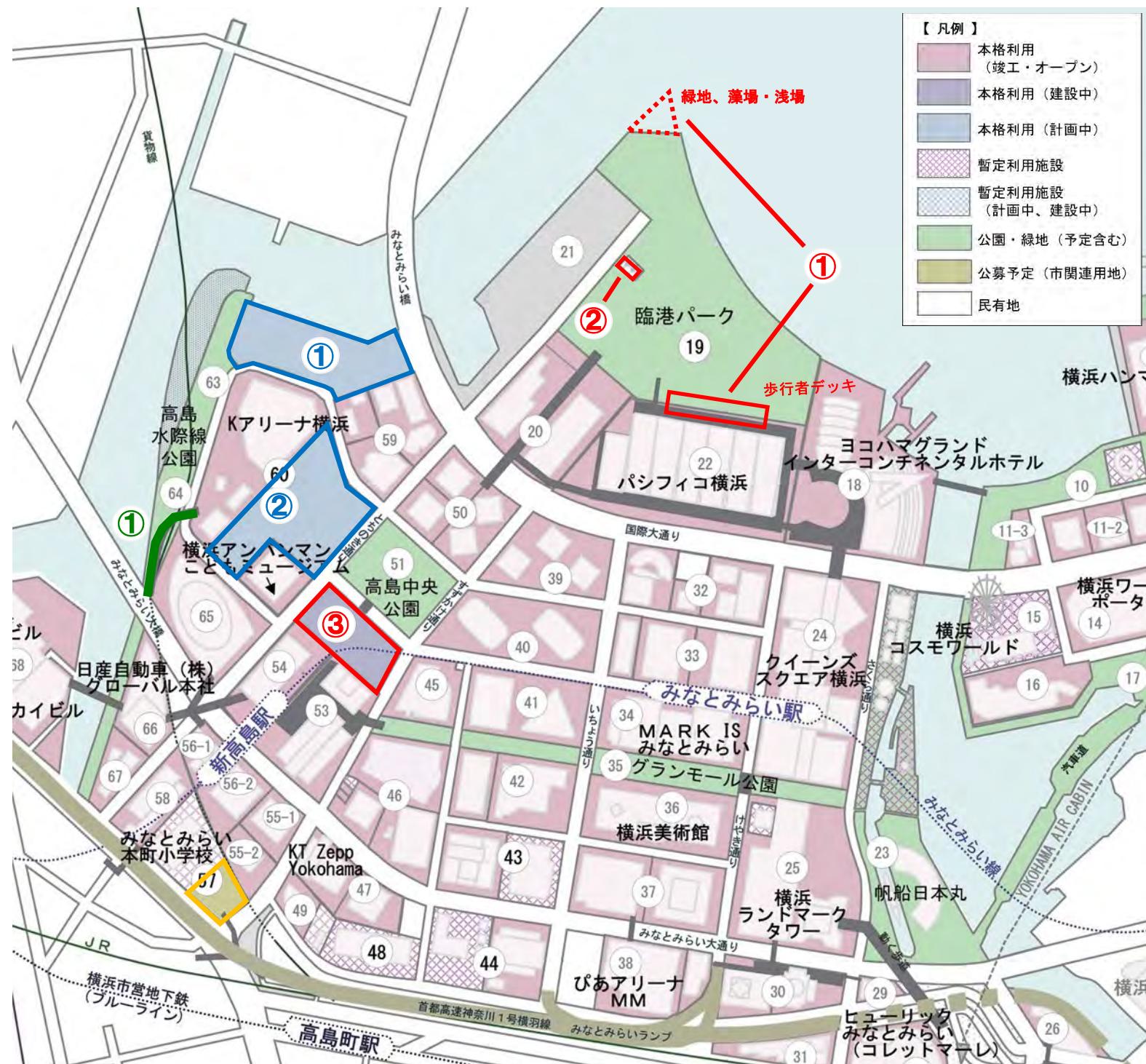
令和元（2019）年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
12月	西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）新設通路開通
令和2（2020）年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
8月	JR横浜駅改札内通路整備完了
12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了
令和3（2021）年10月	②きた西口駅前広場 屋根工事着手
令和4（2022）年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手

令和4 (2022) 年1月
令和5 (2023) 年1月
令和6 (2024) 年3月
6月
7月
9月
令和7 (2025) 年3月
6月
6月



【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

<p>赤① 19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：歩行者デッキ（橋梁・園路） 緑地、藻場・浅場 スケジュール：令和8（2026）年3月竣工予定 (歩行者デッキ)</p>	<p>赤② 19の一部：カフェ・レクリエーション施設の整備（横浜ティンパーワーク）</p> <p>事業主体：臨港パークプロジェクトチーム (代表企業) 株式会社ドラフト (構成企業) 株式会社伊佐建設 スプリングハズカム合同会社 規模等/高さ：地上3階 延床面積：約1,570m² 施設：ベーカリー・カフェ、野外レクリエーション支援機能を併せ持つレストラン スケジュール：令和7（2025）年10月開業予定</p>
<p>赤③ 52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m 敷地/延床面積：約11,800m²/約115,000m² 施設：オフィス、オープンイノベーションスペース、ゲームアートミュージアム、店舗等 スケジュール：令和9（2027）年5月竣工予定</p>	<p>緑① 60・61の一部-みなとみらい大通り：高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3（2021）年10月 スケジュール：令和3（2021）年10月着工 令和7（2025）年度末竣工予定 (令和7（2025）年3月暫定開通)</p>
<p>青① 62：（仮称）HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：ベルジャヤ横浜スピタリティアセット特定目的会社 規模等/高さ：地上14階、地下1階/約60m 敷地/延床面積：約22,000m²/約88,500m² 施設：ホテル&ホテルコンドミニアム、デジタル水族館、ミュージアム、店舗等 スケジュール：令和7（2025）年7月準備工事着手 令和10（2028）年9月竣工予定</p>	<p>青② 60・61：MM60・61プロジェクト</p> <p>事業主体：MM60・61特定目的会社※、学校法人岩崎学園 ※(株)ケン・コーポレーション、SMFLみらいパートナーズ(株)、鹿島建設(株)で構成 規模等/高さ：(東区画)地上26階、地下1階/約100m (西区画)地上13階、地下1階/約60m 敷地面積：約23,000m² 延床面積：(東区画)約131,000m² (西区画)約25,000m² 施設：(東区画)オフィス、ホテル、ミュージアム、商業施設 (西区画)専門学校 スケジュール：令和8（2026）年3月着工予定 令和10（2028）年8月竣工予定（西区画）、令和11（2029）年2月竣工予定（東区画）</p>



赤色：建設中
青色：計画中
黄色：市有地(未利用)
緑色：竣工



西区制80周年記念事業 実施報告書



温故知新～歴史をつむいで未来をつくろう～

2024年の西区制80周年を記念し、地域、企業、団体の皆さんと共に、一年を通じて数多くの記念事業を実施しました。ご協力くださった皆さんに心より御礼申し上げます。

全体会

記念式典開催、記念誌発行等

西区制80周年記念式典 2024年11月24日開催@西公会堂

区民の皆さんとともに80周年をお祝いする記念式典を開催しました。

■ 内容

オープニング 岡野中学校 和太鼓部の演奏

第1部 式典 実行委員長挨拶、来賓祝辞、80周年記念事業の取組紹介 等

第2部 記念イベント

・神奈川大学チアリーディング部「W i n g s」のパフォーマンス

・中高生で結成された「みなとみらいSuper Big Band」の演奏



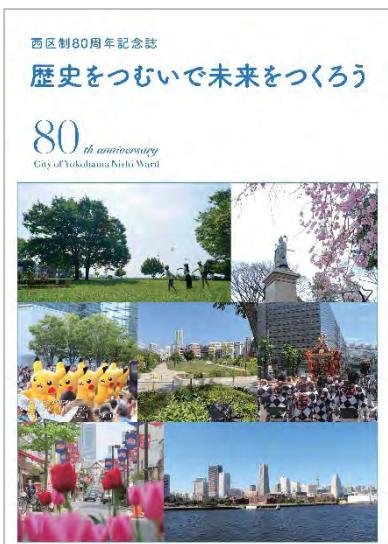
神奈川大学チアリーディング部



みなとみらいSuper Big Band

西区制80周年記念誌 2024年11月発行

80周年お祝いメッセージや記念事業の紹介、西区の歳時記など、どんな世代の人にも楽しんでもらえる記念誌を作成しました。表紙には西区を彩る今の風景写真を、裏表紙には、今までの西区をつむいできた、日常の歴史写真を掲載しています。



表紙



裏表紙

WEBから
ご覧いただけます



部会1

地域資源による回遊性向上

温故知新のみち 謎解きデジタルスタンプラリー

2024年2月15日～3月15日

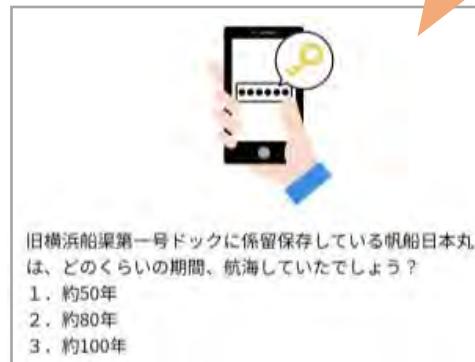
西区制70周年を記念してできた、散策ルート「温故知新のみち」。ルート沿いの案内サイン14か所を謎解きしながら巡るスタンプラリーを実施しました。さらに、連携企画として、ガイドの歴史解説を聞きながら西区のまちを歩く「温故知新のみち ガイドツアー」を実施しました。

- スタンプラリー参加者数 384名
- ガイドツアー参加者数 119名

浅間台小学校の児童も
謎を考えてくれました



温故知新のみち 案内サイン



旧横浜船渠第一号ドックに係留保存している帆船日本丸は、どのくらいの期間、航海していましたか？
1. 約50年
2. 約80年
3. 約100年



ガイドツアーの様子

重ね押しスタンプラリー☆西区の魅力を再発見！

2024年10月24日～12月24日

区内7つの地区を巡り、魅力を再発見してもらう重ね押しスタンプラリーを開催しました。全てのスタンプを押すと、西区にちなんだ絵柄が完成します。どんな絵柄になるかは最後までわからない仕掛けのため、各地区を巡り、楽しんでいただきました。

- 景品応募者数 1,462件

多くの子どもたちに
参加いただきました！



全てのスタンプを押すと完成する絵柄
(作画 鈴木太郎さん)

部会2

商店街・個店の魅力発信

横浜西区LOVEWalker 2024年6月5日発行

西区の商店街・個店を紹介するフリーペーパー「横浜西区LOVEWalker」を発行しました。区民・来街者の皆さまがお薦めする51店舗をはじめ、西区8大ニュースや街歩きマップ、商店街コラムなど、西区の魅力がたっぷり詰まった冊子となりました。

■ 発行部数 35,000部



西区ぱくぱく&てくてくスタンプラリー 2024年8月19日～9月30日

区内の商店街加盟店舗に加え、横浜西区LOVEWalker掲載店舗にご協力いただき、対象店舗で買い物・食事をして集めたスタンプで応募すると、抽選で景品が当たるという仕組みでスタンプラリーを実施しました。

■ 景品応募者数 1,536件（利用した店舗数 3,880店舗）
■ 協力店舗数 172店舗



部会3

80周年記念連携事業によるつながりづくり・機運醸成

記念作品 2024年11月

子どもから大人まで誰もが憩える場となるように、区制50周年の際に設置した西区役所前の石のベンチを、白を基調とした明るいものにリニューアルしました。さらに、保育園児による花植えを実施しました。



80周年のプロモーション 2023年～

80周年をお祝いするロゴマークは、デザイン案の募集・一般投票を経て決定しました。のぼりやふせん等の記念グッズ作成、横浜魅力発信アンバサダー・高城れにさん（ももいろクローバーZ）による80周年お祝いメッセージ動画の作成、区内のすべての小学生に西区の歴史を学べるクリアファイルを配布しました。

また、職員デザインによるオリジナルマイナンバーカードケースを配布しました（1万枚）。



記念グッズ



お祝いメッセージ動画



小学生向けクリアファイル



マイナンバーカードケース

西区制80周年記念連携事業

地域、団体、企業の皆さまが実施するイベントにて、のぼりを掲げていただく等、1年間を通じて、一緒に80周年を盛り上げていただきました。

- 連携事業数 80件



皆さまからのご支援を基に、西区がこれまで培ってきた行事のさらなる盛り上げや、記念事業を実施しました。

第58回 西区虫の音を聞く会

2024年8月24日 @掃部山公園

長年友好交流のある彦根市から鉄砲隊をお招きして、火縄銃を用いた迫力ある演武を披露いただきました。



彦根鉄砲隊による演武

第18回 西区ハマのウォーキングフェスティバル

2024年12月1日 @戸部公園～臨港パーク

西区の歴史を堪能しつつ、未来への新たな船出を感じられるウォーキングコースを楽しんでいただきました。



ゴールではしまろちゃんがお出迎え

西区キャンドルアート2024

2024年12月21日@グランモール公園 美術の広場

80周年特別企画として「横浜市消防音楽隊」と女性合唱団「フェリス・フラウエンコーラ」によるステージを実施しました。



「フェリス・フラウエンコーラ」による合唱

第49回 西区民まつり

2024年11月10日 @戸部公園、西前小学校

球団神奈川移転70年目を迎え、26年ぶりの日本一に輝いた横浜DeNAベイスターズとのコラボ企画を実施しました。



球団OBの荒波翔さんなどを迎えたトークショー・抽選会
当時は延べ4万人がおまつりを楽しみました

シドモア桜の植樹

2024年12月20日 @掃部山公園

80周年を記念し、シドモア桜の会 横浜様からシドモア桜の苗木を寄贈いただき、その苗木を掃部山公園に植樹しました。



植樹式にご出席いただいた皆さま

横浜市西区制80周年記念展

-歴史をつむいで未来をつくろう-

2025年1月8日～2月28日 @ JR横浜タワー アトリウム3階

西区制80周年記念誌と「未来につなぎたい西区の魅力」をテーマとしたInstagramフォトコンテストの作品を展示しました。



JR横浜タワー アトリウム3階にて展示の様子

その他

地域の皆さんによる記念事業の盛り上げ、未来につながる取組



にこまちフォーラム
(2月17日、西公会堂)



第19回第4地区みんなのまつり
(3月9日、一本松小学校)



第3地区「ふれあい春まつり」
(5月19日、稲荷台小学校)



第六地区みんなでハッピーまつり
(6月30日、宮谷小学校)



第2地区ふれあいまつり
(7月20日、西前小学校)



第五地区納涼まつり
(7月20日、西公会堂・地区センター)



西区今昔かるた大会
(8月4日、西地区センター)



ぶつけ本番書展&サマーアート展
(8月6日～12日、みなとみらいギャラリー)



西区制80周年記念「2024年夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」
(8月13日、戸部公園)



第一地区「かもん山納涼の夕べ」
(8月25日、掃部山公園)



西区中学校・高等学校吹奏楽
フェスティバル
(10月14日、西公会堂)

西区制80周年記念事業補助金

横浜市西区社会福祉協議会により、「にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）」実現のための補助金が創設されました。地域活動への補助により各地区で行われたイベントが大変盛り上りました。

■補助金額 合計540万円

協賛金についてのご報告

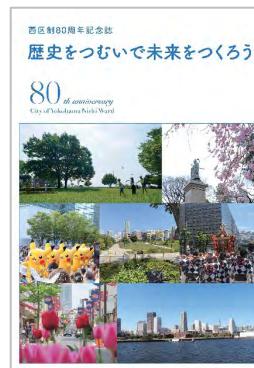
- **募集期間** 2023年10月～2024年6月
- **目標金額** 300万円
- **御協賛数・御協賛額** 187者、7,215,000円
- **御協賛の周知**



西区制80周年記念式典プログラムへの掲載



西区制80周年記念式典に設置した
協賛パネル



西区制80周年
記念誌への掲載



広報よこはま西区版
2024年4月号への掲載
(2024年1月末までにお申し込み
いただいた10万円以上の御協賛者様)

西区制80周年記念事業の趣旨に御賛同いただき、
多大なる御協力を賜り、心より御礼申し上げます。